

## どの子にもわかるできる授業デザイン～教材教具の工夫から～

千葉県柏市立大津ケ丘第一小学校 教諭 井上 昇

### 小学校4年 国語 お伝と伝じろう

#### 番組の特徴

「どうしたら伝えられるのか・伝わるのか」ということをドラマで描いている。各回のテーマに合わせた言語活動のスキルも紹介することで、コミュニケーションスキルを育てることができる番組である。

#### 研究の概要

教材教具を工夫することにより、児童に「わかった・できた」という感覚を待たせるため、番組や思考ツールを活用した。単元を貫く言語活動としてPOP作りを設定する事で、学習の見通しを持たせることができた。課題解決のスキル獲得のため、番組を活用したことや児童の思考を整理するための思考ツールの活用により、自ら進んで作品を作り、より良くする姿が見られた。

#### 授業デザイン

単元：興味をもったことを紹介しよう

目標：自分の好きなところを自分の言葉で短くまとめることができる。

導入	学校図書館に自分の紹介したい本のPOPを置くことを知る。(自作動画)
課題把握	手に取りたくなるような、POPのキャッチコピーを考えよう
番組視聴	第13回 言葉が人をひきつける
自力解決	番組を見て学んだことをもとにキャッチコピーを考える。
協働解決	ピラミッドチャートを使い、考えを精選する。
まとめ	POPのキャッチコピーを完成させる。
表現	本の要約を作り、POPを完成させる。
発表	完成した作品を学校図書館に置きに行く。



#### 番組や関連動画クリップの活用意図

##### 課題を持つための番組視聴

学校内における問題を解決していく様子をドラマ形式で見ることで、課題をより身近のものとしてとらえ、興味を持ち学習に参加することができる。

##### 人を引き付けるキャッチコピーの作り方を知る

キャッチコピーの達人が、人を引き付けるための言葉の選び方や、使い方を具体的な作品をもとに教えてくれるので、学習課題解決のための手がかりになる。

#### 授業デザインにかかわる教師の工夫

##### 単元を貫く言語活動（POP作り）

学校図書館にPOPを置くという単元を貫く言語活動を設定した。その言語活動を達成するため、紹介したい本をキャッチコピーや要約にした。

##### 思考ツールの活用

番組活用後にピラミッドチャートを活用し、話し合い活動を行うことで、児童が考えたアイデアを整理し、精選した。

##### 学習問題の動画化

学習問題を自作の映像にすることで、児童の関心を高めた。また、身近な学校図書館を学習問題に取り入れることで、学習に相手意識や親近感を持たせた。

#### 生き生きと学ぶ子どもの姿

##### 子どものアンケートから

- ピラミッドチャートを使った話し合いで、自分の作った考えがよくなっていたのが嬉しかった。
- 先生の動画がおもしろくてPOPを作ってみたくなった。

##### 評価シートから（単元前後で有意差が見られた7項目(全16項目)より抜粋）

- じっくりと考えて、自分の考えを深めることができたと思う。
- 自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができたと思う。

##### 同僚の評価

- 番組が面白く、子どもが食い入るように番組を見ていた。
- 学習問題の動画化は色々な場面で活用できそうだった。
- 児童が思考ツールを使う際、根拠を持ち使えるといいと思う。

#### 実践を終えて＜行動宣言＞

自作の動画を児童の課題把握や学習への関心を高め、番組には、課題解決のための観点・知識の獲得を目的にした。実際に、児童は学習に関心をもち、知識を持って課題の解決にあたった。教師の説明だけでは理解しにくい部分を視覚的に伝えられるので、児童に素早く知識が入った。そのため、課題解決の時間を長く確保できたのも番組活用の利点であった。今後も効果的に番組を活用していきたいと思う。